

収穫の秋が終わり、周りの山々に雪が降り始め、雪囲いで家や庭が覆われ、厳しい冬を迎える準備が始まろうとしています。

のむき風の郷の営業もあと僅かとなりました。皆様のご利用、ご協力に感謝申し上げます。さて、本年4月より、毎月1回、のむき風の郷の関係者が集まって、のむき風の郷の運営に関する話し合いを行ってきました（定例会という）。11月の会議で、今まで話し合ってきたことが町民に知らされていないので知らせたほうがよいのではないか、という意見が出ました。

そこで、今回は会議で話し合われた内容を少しお話するとともに、11月に開催された二つのフォーラムの報告をしたいと思います。

★定例会（4月～11月 毎月第2月曜日）

11月定例会 1年間の振り返りと来年度への課題

「のむき風の郷の運営」

- ・エゴマに関する情報をレジ担当も含め全員が共有する
- ・センター長から野菜出荷者へ、組織的な出荷ができるよう体制づくりをする
- ・毎月一人一品運動を展開する
- ・蕎麦の日に、野菜テント市などを同時に開催する
- ・エゴマ以外の、野向ならではの特産物を作る
- ・理事長やリーダーは、常に先のことを考え目標を持つ
- ・のむき風の郷はどういうスタンスに立つのかというビジョンをはっきりさせる

★フォーラム

以下の二つのフォーラムで、NPO法人まちづくりのむきの会の取り組みを発表しました。

ともに、NPO法人まちづくりのむきの会の活動事例や課題などを発表しました。どちらでも活動内容に称賛の声を頂きました。日頃の町民の皆さんの活動そのものが、とても素晴らしいものだという証です。

(1) 11月11日(日) 地域包括フォーラム2018 in かつちやま

主催：ケア・ブレイクかつちやま代表委員 深谷憲一

地域包括フォーラムの目的

「医療・介護」「生活・住まい」「生きがい・就労」「まちづくり」という4つの側面から勝山の将来を考え、共同して課題に取り組んでいく

(2) 11月15日(木)～16日(金) 日本ジオパークネットワーク全国研修会

会場：野向公民館・のむき風の郷

主催 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

ジオパーク研修会の目的

全国のジオパーク活動（地球や大地の秘密や歴史が、自然や人間の生活にどのように関わっているか考える）を研修し、より良い活動方向を考える

《のむき風の郷営業状況》

(10月1日～10月31日)

◆営業日数 25日 ◆来客数 975人 ◆売上高 1,180,922円

(11月の状況報告は、次回の便りで報告致します。)